

本日ここに、伊予市長 武智邦典様、PTA 会長 斎藤 哲様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和4年度愛媛県立伊予農業高等学校入学式を挙げていただけますことは大きな喜びであり、深く感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠にめでたうございます。お子様の高校入学という大きな節目を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。

さて、ただ今、入学を許可いたしました、158名の新入生の皆さん、入学おめでとう。本校は、大正7年に誕生し、輝かしい歴史と伝統を誇る愛媛県下でも屈指の農業高校です

本日より、本校の生徒として勉強することになりました。これからの変化の激しい社会を生き抜いていくためには、自ら学ぶ意欲と主体的な学習の仕方を身に付けるとともに、豊かな人間性と逞しい体力を養うことが求められます。そのために、高校時代に次のことを心に留めておいてください。

まず、様々なことに対して主体的なチャレンジを心がけてください。

本校の教育目標にも、「自信と誇りを育む農業教育の推進」と謳われています。新しいことや難しいことに果敢にチャレンジし、自分自身の可能性を信じ、自信と誇りと主体性を身に付けてほしいと思います。

農業高校には、古くからおこなわれてきた職業高校ならではの学習活動であるプロジェクト学習法があります。また、農業高校では普通高校には見られない、農業クラブという独自の組織のもと、研究班活動などが取り組まれています。プロジェクト学習は、国語や数学など教室での学習とは大きく異なり、生徒自ら課題意識を持ち、興味・関心のある事柄を取り上げて、それについて調査・研究・発表を行うものです。この学習活動では生徒の主体性・学習意欲・企画力・思考力・判断力・実行力・表現力など、様々な能力が必要とされ、普通教科の学習以上に難しいかも知れません。しかし、3年間この活動を続けることで、社会人としての資質・能力を十分身につけられるはずで、ただ教えられるままの知識や技能ではなく、私たちが生活し、仕事をし、逞しく生きるために必要とする生きた学力です。高校生活の中でチャレンジすることで、是非、それを身に付けてほしいと思います。

次に、「LOVE伊予農」の気持ちを持ち続けてください。

自分を愛する。友達を愛する。クラスを愛する。学年を愛する。学科を愛する。学校を愛する。家族を愛する、そして地域を愛する。という気持ちを持ち続けてほしいという願いがあります。愛するとは「いつくしみ、相手の価値を認め、強く引き付けられる気持ち」です。日々の生活で感情は毎日同じではなく、良い時も悪い時もあります。喜びを感じる日、悲しみを感じる日、様々な感情を感じる日が訪れます。しかし、本当に愛することができると、不思議とその変化に動揺することが少なくなり、安定的な感情で過ごしていくことができます。人間が人間として生きていくためには、あたたかな人間関係がますます重要です。思いやることができる人は、他人の痛みも分かり、短絡的に物事を判断しない人です。これは、立派な社会人としての基本的な条件でもあります。共に喜び、共に泣き、心から話し合える親友は、高校時代のあたたかな人間関係の中から生まれ、一生にわたって大きな力になります。3年間の農業実習や様々な体験・経験の中からこれを育んでください。

そして、忘れてはならないのは、故郷を思う気持ちを持ち続けることです。本校の重点努力目標にも「生徒が輝き 地域が輝き 未来が輝くために」が謳われています。皆さん、一人一人は地域の皆さん、保護者の皆さん、多くの方々の支えがあって今日のよき日が迎えられました。今後も、感謝の気持ちを忘れず、日々の学校生活を通して様々な取り組みを継続して行うことが大切だと思います。

皆さんには、これから本校で、自己の可能性を高め、地域を支える人材に成長して行ってほしいと願っています。どうか、これらのことを心にとどめ、充実した高校生活を送ってください。新入生の皆さんが今日の喜びを忘れず、心身ともに健康で、有意義な高校生活を送ることを心から願って式辞といたします。

令和4年4月8日

愛媛県立伊予農業高等学校長 松永 泰